

平成23年度点検・評価の概要

1. 点検・評価の基本的な考え方

| | | | |
|-----------|---|--------------------|--|
| 趣旨 | ○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす ○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条 ○取扱 報告書を議会に提出・市民公表 | 対象 | ○平成22年度に実施した取組みを対象 ○教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みも点検・評価 |
| 方法 | ○帯広市教育基本計画の「個別目標」「基本方向」ごとに実施 ○取組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価 | 学識経験者の知見の活用 | ○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価を行うにあたり客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けて活用をはかる |

2. 点検・評価の結果

次代を担う人づくり

知識・技能の習得

| 展開方策 | 成果 | 課題・方向性 |
|----------------------|---|--|
| 子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進 | ○全国学力・学習状況調査結果の改善 ○学校と社会教育施設の連携推進 | ○基礎基本の定着のため、個に応じたきめ細かな指導などの充実 |
| 個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進 | ○講座等への参加者数が目標値を達成 | ○学習情報の幅広い提供 ○社会のニーズに応じた学習活動の充実 |
| 職業に関する教育・学習活動の推進 | ○南商業高校で実践的な教育活動による、生徒のコミュニケーション能力等の育成 ○南商業高校で検定3種目以上1級取得率が目標値を達成 | ○南商業高校での実践的な教育の充実のため、企業や大学・他高校との連携の強化 |
| 高度情報化に対応した教育・学習活動の推進 | ○インターネットからの有害情報の危険性について情報提供 | ○関係団体、事業者、保護者などと連携した有害情報の排除などの取組み ○情報モラルの育成 |

<成果指標の状況>

| 指標名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|-------------------------------|--------|------------------|--------|
| 標準学力検査の目標基準到達観点数(観点) | 26 | 26 28 | 42 |
| 帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数(人) | 22,590 | 26,656 23,000 | 23,000 |
| 帯広南商業高等学校の就職率(%) | 100.0 | 100.0 100.0 | 100.0 |
| 帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率(%) | 46.7 | 62.6 48.5 | 75.0 |



複数の指導者による少人数指導



帯広南商業高校生徒による販売(北海道高等学校商業教育フェア)

健やかな体づくり

| 展開方策 | 成果 | 課題・方向性 |
|--------------------|--|---|
| 健やかな体を育むスポーツ活動等の推進 | ○帯広市体力・運動能力実態調査において全道平均を上回る種目の増加 ○スポーツ施設における大会等の参加者数が前年より増加 | ○子どもの体力向上のため、家庭や地域と連携した取組み ○スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数の増加に向けた取組み |
| 食育の推進と学校給食の充実 | ○食育の推進(啓発リーフレット作成、学校栄養職員による指導、講演会等) ○学校給食への理解促進(試食会、パネル展等) | ○家庭や地域と連携した食育の取組みの促進 ○学校給食における地産野菜の安定供給など、安全安心な食材の確保 |

<成果指標の状況>

| 指標名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|---------------------------|--------|------------------|--------|
| スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数(人) | 35,677 | 70,414 87,000 | 87,000 |
| 総合型地域スポーツクラブの設置数(か所) | 2 | 3 3 | 8 |
| 学校給食における地産野菜の導入率(%) | 55.7 | 53.0 66.7 | 70.0 |



食育フェスティバルでの給食試食会



ゴルフ大会

豊かな心の育成

| 展開方策 | 成果 | 課題・方向性 |
|------------------|---|---|
| 子どもの社会性の育成 | ○相談体制の定着などにより不登校生徒の復帰率が上昇 ○新たに2校で「子どもの居場所づくり」を実施、参加児童数が目標値を達成 | ○不登校生徒の学校復帰に向けた取組みの充実 ○道徳教育の充実や体験活動機会の提供 |
| 豊かな情操の育成と生きがいづくり | ○第二期帯広市子どもの読書活動推進計画の策定 ○小・中学校図書館の貸出冊数が目標値を達成 ○市民主体の芸術・文化活動の支援 ○良質な芸術・文化にふれる鑑賞機会の提供 | ○第二期帯広市子どもの読書活動推進計画の推進 ○市図書館、学校図書館の蔵書の計画的な整備 ○小規模な文化団体や個人の活動支援 ○鑑賞事業入場者数の増加に向けた取組み |

<成果指標の状況>

| 指標名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|-----------------------|--------|------------------|--------|
| 不登校生徒の復帰率(%) | 30.8 | 36.6 42.5 | 65.0 |
| 子どもの居場所づくり参加児童数(人) | 7,575 | 17,477 16,300 | 31,100 |
| 小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数(冊) | 9.1 | 10.7 9.4 | 11.8 |
| 中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数(冊) | 1.6 | 2.6 1.7 | 2.4 |
| 鑑賞事業の入場者数(人) | 34,098 | 25,096 38,000 | 38,000 |



帯広市民バレエ公演「くるみ割り人形」



語り手育成講習会

人間を尊重し自然と共生する人づくり

| 展開方策 | 成果 | 課題・方向性 |
|----------------------------|---|--|
| 人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進 | ○学校の教育活動全体を通じた取組みの推進 ○講演会や情報誌などを通じた啓発 | ○幅広い市民の意識啓発に向けた取組み ○UDに関する講座等への参加者数の増加に向けた取組み |
| グローバル化に対応した教育・学習活動の推進 | ○国際理解教育指導助手や外国語指導助手、国際交流員の学校への派遣 ○南商業高校での英語指導助手による指導、マティソン市への生徒派遣研修などの実施 | ○小中学校における外国語教育の充実 ○国際理解推進事業・国際交流事業のさらなる周知 |
| 環境に関する教育・学習活動の推進 | ○各学校の特色を生かした取組みの展開 ○社会教育施設と連携した環境教育の充実 ○環境にやさしい活動実践校が目標値を達成 | ○学校における環境教育の充実 ○環境に関する市民の学習機会の充実 |

<成果指標の状況>

| 指標名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|-------------------------|--------|------------------|--------|
| UDに関する講座等への参加者数(人) | 234 | 98 234 | 370 |
| 国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数(人) | 8,465 | 7,898 8,585 | 9,350 |
| 環境にやさしい活動実践校数(校) | 10 | 17 17 | 41 |



国際理解教育指導助手との外国語活動の授業



環境にやさしい活動実践校の活動例

ともに学びきずなを育む地域づくり

ふるさとの理解の促進

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|---------------|---|---|
| 子どものふるさと教育の推進 | ○郷土体験学習等を通じたふるさとに対する理解の促進 ○アイヌ民族の理解促進指導用教材資料の作成・活用 | ○郷土体験学習等の学習内容の充実・改善や各教科との関連づけ ○学校と社会教育施設が連携した学習活動の推進 |
| 地域に関する学習活動の推進 | ○市民大学講座、博物館講座等の学習機会の提供 | ○地域について学ぶ講座等への参加者数の増加に向けた取り組み |

きずなづくり・まちづくり

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|--------------------------|--|--|
| まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進 | ○「おびひろ地元学」やまちづくりの担い手育成研修会の開催 ○青少年リーダー養成事業参加者数と学習成果の活用事例数が目標値を達成 | ○ボランティアの育成や研修、学習成果の活用機会の充実 ○中高生リーダー育成事業への参加や若者の社会参画を促進するためのしくみづくり |
| にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興 | ○芸術・文化の発表・活動の場への参加団体数が目標値を達成 ○スポーツ大会の観客数が前年度より増加 ○スポーツ合宿団体数が目標値を達成 | ○芸術・文化活動の指導者や団体等の情報提供の充実 ○関係団体等と連携したスポーツ大会・合宿の誘致の取り組み |

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|----------------------|--------|------------------|--------|
| 地域について学ぶ講座等への参加者数(人) | 4,053 | 2,871 4,000 | 4,000 |



中学2年生の魚釣り体験
(自然体験学習)



足寄動物化石博物館での
テーブルワーク(バス学習)

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|--------------------|--------------|------------------|--------|
| 青少年リーダー養成事業参加者数(人) | 208 | 288 215 | 260 |
| 学習成果の活用事例数(件) | 1 (H20) | 4 1 | 10 |
| 発表・活動の場への参加団体数(団体) | 56 | 68 56 | 65 |
| 各種スポーツ大会の観客数(万人) | 16.0 | 20.5 20.8 | 20.8 |
| スポーツ合宿団体数(団体) | 150 (H20) | 200 200 | 200 |



百年記念館ボランティアの活動
(レコードコンサート)



スピードスケートワールドカップ
帯広大会

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|-----------------------------|---------------|------------------|--------|
| 子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回) | 10.2 | 10.7 10.7 | 12.0 |
| 子育てメール通信の利用率(%) | 23.8 (H20) | 24.7 30.3 | 60.0 |
| 学校支援ボランティアを活用した学校数(校) | 2 | 24 15 | 40 |



家庭教育学級での
合同レクリエーション



地域住民との花壇整備

基本目標を実現するための基盤づくり

学校・家庭・地域の連携

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|-----------------|--|--|
| 開かれた学校づくり | ○学校評議員制度の全校実施 ○公開研究会や地域公開参観日などの取組みが増加 | ○学校評議員制度のさらなる活用 ○学校の教育活動や運営状況などの情報提供 |
| 家庭教育への支援 | ○家庭教育に関する情報提供 ○読書を通じた親子がふれあいう機会の充実 ○子育て支援センター等の利用回数が目標値を達成 | ○子育てメール通信利用促進のための取り組み |
| 家庭や地域による教育支援の推進 | ○学校支援ボランティアを活用した学校数が目標値を達成 | ○コーディネーターなどの育成や学校・家庭・地域連携のしくみづくり ○学校支援地域本部事業の拡充 |

教育を支える人材の育成

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|----------------|---|---|
| 教員の人間力・指導力の向上 | ○教員1人当たりの研修受講回数が目標値を達成 ○教員リーダー養成「21世紀教師塾」の開催 | ○学校と連携した計画的な研修受講の促進 ○教職員への情報提供や個人研究の支援 ○校内研修体制の充実 |
| 地域の人材の発掘・育成・活用 | ○新進芸術家への発表機会の提供 ○スピードスケート人材の育成を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」の開始 | ○指導者登録制度の周知と分かりやすい情報発信 ○文化団体に関する情報内容の充実や周知 ○スピードスケート人材育成環境の充実 |

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|------------------------------|--------|------------------|--------|
| 教職員1人当たりの研修受講回数(回) | 2.2 | 2.4 2.3 | 3.0 |
| 地域の指導者の登録者数(人) | 138 | 107 145 | 190 |
| ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数(団体) | 260 | 259 263 | 272 |



特別支援教育課題別研修講座



スケートキングダム小学生
(小学生を対象としたスケート教室)

教育環境の充実

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|--------------|---|--|
| 学校教育の環境整備 | ○校舎耐震化率が目標値を達成 ○新たな学校給食調理場基本構想の策定 | ○耐震化の早期実施 ○老朽化した学校施設等の計画的な整備 ○新たな学校給食調理場建設に向けた取り組み |
| 社会教育の環境整備 | ○市民1人当たりの図書等の貸出点数が目標値を達成 ○アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の改修 ○帯広の森体育施設の省エネルギー化 | ○施設・設備の計画的な整備 ○老朽化した展示物等の更新 |
| 保育・体験活動の環境整備 | ○豊成保育所、豊成児童保育センターの実施設計 ○児童会館の入館者数が目標値を達成 | ○施設の計画的な整備や耐震化の促進 ○児童会館の展示品や実験器具等の更新 |

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|-----------------------------|--------|------------------|--------|
| 小・中学校校舎の耐震化率(%) | 46.5 | 74.5 50.3 | 100.0 |
| 市民1人当たりの図書等の貸出点数(点) | 5.4 | 5.7 5.6 | 7.0 |
| 児童会館の入館者数(万人) (H17-19平均) | 10.9 | 11.9 11.3 | 12.0 |



現在の学校給食共同調理場 改修したアイヌ民族情報センター「リウカ」



教育機会の確保

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|-----------|------------------------------------|---|
| 就学・進学への支援 | ○家庭に対する経済的支援の実施 ○市内高校の間口対策の推進 | ○経済的支援の継続実施 ○市内高校の間口対策の継続実施 |
| 健やかな発達の支援 | ○特別支援学級の設置数が目標値を達成 ○特別支援教育支援員配置 | ○特別支援学級の整備 ○障がいのある子どもに対する長期的な視点に立った支援のしくみづくり |

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|----------------|--------|------------------|--------|
| 特別支援学級の設置数(学級) | 38 | 57 47 | 59 |



帯広市高等学校間口対策
協議会による要望書の提出



特別支援教育補助員による
児童へのサポート場面

よりよい教育のためのしくみづくり

| 展開方策 | 成 果 | 課題・方向性 |
|------------------|--|--|
| 魅力ある学校づくりの推進 | ○保護者などの意見を取り入れた学校評価の推進 ○小規模特認校制度の継続 | ○学校評価の充実と評価結果を踏まえた学校運営の改善 |
| 学校教育のしくみの工夫改善 | ○学校適正配置計画の見直し ○幼保小中連携協議会の設置 | ○幼・保・小・中の連携のしくみづくりや教職員研修の推進 |
| 社会教育施設の利用の促進 | ○社会教育施設の総利用者数が目標値を達成 ○社会教育施設連携アクションプログラムの実施 | ○文化施設の利用者の増加に向けた取り組み |
| 地域の実情に応じた教育行政の推進 | ○教育懇談会の開催 | ○教育懇談会のあり方や実施方法などの検討 ○教育に関する情報提供の充実 |

<成果指標の状況>

| 指 標 名 | H19基準値 | H22実績値 H22目標値 | H31目標値 |
|------------------|--------|------------------|--------|
| 社会教育施設の総利用者数(万人) | 95.2 | 95.5 95.2 | 95.2 |
| 文化施設の利用者数(万人) | 54.8 | 51.0 60.0 | 60.0 |
| スポーツ施設の利用者数(万人) | 114.8 | 132.0 128.6 | 128.6 |



翔陽中学校開校式
(平成23年4月)



「未来に伝える遊び体験」
(会場:図書館)